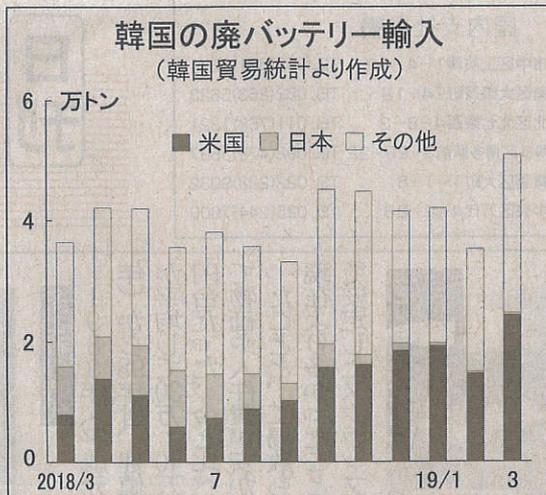


韓国3月

廃バッテリー輸入最多

初の5万トン超、米国急増



韓国の廃バッテリー(使用済み自動車用鉛蓄電池)輸入が過去最多を記録した。韓国関税庁がこのほど発表した貿易統計によると、3月輸入量は前月比44・1%増の5万8333トで、初めて5万トを上回った。米国からの輸入が急増し、日本からの輸入ストップの影響を感じさせない増勢ぶりだ。アジア向けの地金輸出も増えており、今後の鉛加工貿易の新たな拡大路線も見えてきた。

対日急減の影響なく

鉛リサイクル原料の廃バッテリーは、世界最大の二次精錬国である韓国が世界各国から輸入している。かつては日本が最大輸入先だったが、韓国側の環境管理能力の不備を理由に、日本の省庁からの輸出承認が下りなくなると、今年に入ると対日輸入はほぼ払底。日本に代わる調達ソースとしてさらに注力したのが、米国からの輸入だ

った。

対米輸入は昨年9月に月間1万トを超え、昨年10月から4カ月連続で最多を更新し、今年1月には1万9190トまで増えた。2月は一服したものの、3月は前月比66・1%増の2万4264トに急増し、初の2万トも軽々と上回った。全体輸入量でも最多だった2017年3月に記録した月間4万7038トを超えた。輸入された約5万トの廃バッテリーの鉛重量は3万ト相当と推定される。

輸入平均単価は前月比キロ0・01が高の0・95で、小幅ながら7カ月ぶりに前月比プラスに転じた。対米輸入単価が0・01が高の0・93と上昇したことが反映され、韓国サイドが原料調達を増やすため買値を引き上げた可能性もある。

その他の主な輸入相手国は、アラブ首長国連邦(UAE)3971ト、ドミニカ共和国3429ト、ニュージーランド2513ト、トogo1564ト、豪州1548ト、シンガポール1447ト、カナダ1423ト、ブルネイ1294ト、イエメン1288ト。対UAEも4年半ぶりの4000ト割れで低調だったが、対米国の急増がカバーした。対日本は395トで、3カ月連続の500ト未満にとどまった。

なお、韓国の自動車用鉛バッテリーの1-3月輸出は前年同期比4・5%増の18万4561ト、地金(合金含む)輸出は28・5%増の8万9491トとそれぞれ増えている。中でも地金輸出は過去最多ペースで、廃バッテリー輸入とともに増えていった米国向けに加え、中国、インド、ベトナムなどアジア諸国向けに輸出を拡大している。